

ひとつめのカレンダー

まずは、日曜日始まりのカレンダーを作ります。

1. 表示する年と月を変えやすくするため、年と月を別に書いてください。
2. そしてDATE関数を使って、その日の1日の日付を計算します。
3. 次に、そのすぐ下の行に、日～土の曜日を書きます。ここには式ではなく、文字を直接書きます。

セル「B1」には表示したい「年」を
セル「B2」には表示したい「月」を
書く。

=DATE(B1, B2, 1)

4. その次の行(日と書いたセルの真下)に、2で計算した日付週の日曜日の日付を表示します。2で計算した日付の曜日をWEEKDAY関数で計算して、その日付-1日ぶん前の日付を計算して表示します
5. そのあとは、前のセルに書かれた

=C4-WEEKDAY(C4)+1

日付の翌日(前のセル+1)の日付を表示します。ただし、日曜日の前の日付は、一つ前の行の土曜日の日付ですので、他のセルと式が変わります。

セル「C4」には2の計算式を書く

2012年2月の場合、ここではWEEKDAY(C4)の答えは4(2012年2月1日は水曜日のため)。

日曜日はそれから3日前の1月29日のため、C4の日付-3日前の日付を表示。

2012年02月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	1	2	3

=C4-WEEKDAY(C4)+1

→"2012/2/1"-WEEKDAY("2012/2/1")+1
 →"2012/2/1"-4+1
 →"2012/1/28"+1
 →"2012/1/29"

ふたつめのカレンダー

ふたつめのカレンダーでは、最初に指定した月以外の日付をカレンダーに表示しないようにしています。

```
=IF(MONTH(C6)=$B$2,C6,"")
```

表示しようとする日付の「月」が最初に指定した「月」と同じかどうかはIF関数を使って判断します。

セル「C6」はひとつめのカレンダーの日付

セル「B2」はひとつめのカレンダーに表示する「月」です。

C6の日付が2月のものであった場合、セル「C6」の日付を、そうでなければ、何も表示しません。

この関数は、一つ目の引数が関数やセル参照の時に効果があります。たとえば、下のよう
に書けば、カレンダーの「今月の日付だけ」を表示することが出来ます。

以降のセルには、この式をコピーしてはり付けるだけです。ただし、B2セルのセル参照はコピーしても動かさないように刷る必要があります。そのため、セル参照の列名、行番号の前に\$をつけて、コピーしても参照が動かないようにします。

2012年02月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

```
=IF(MONTH(C6)=$B$2,C6,"")
```

→IF(MONTH("2012/1/29")=2, "2012/1/29", "")

→IF(1=2, "2012/1/29", "")

→""